

平成30年4月16日  
公立社会教育施設の所管の在り方に関するワーキンググループ



荒川区立  
ゆいの森あらかわ

～『ゆいの森あらかわ』が地域に果たす役割～



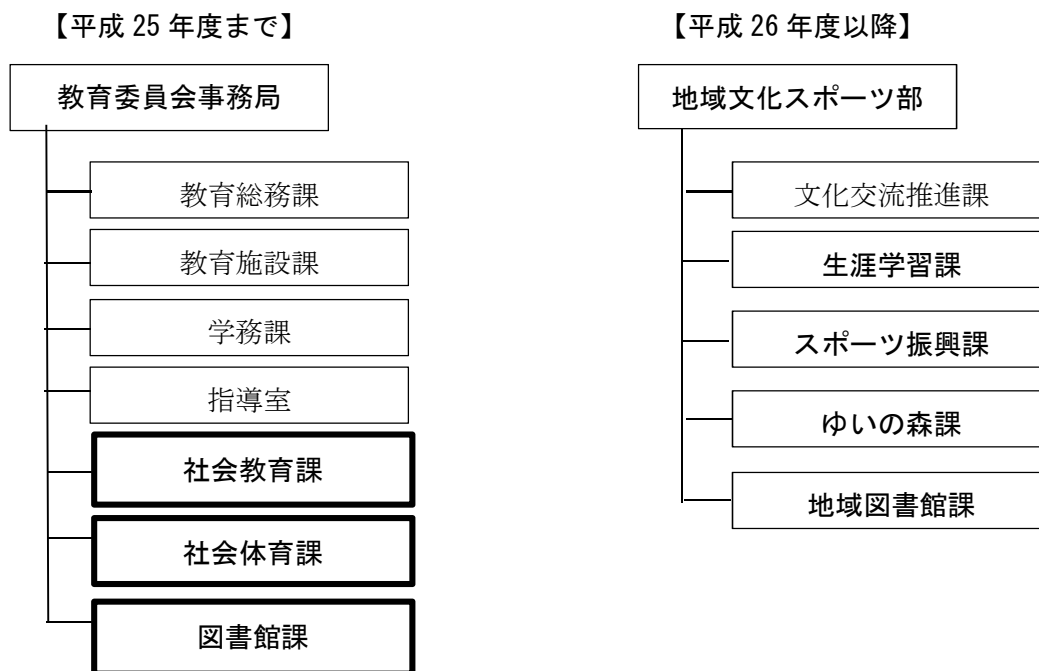
- 1 「ゆいの森あらかわ」の位置づけ
- 2 「複合施設」ではなく「融合施設」
- 3 社会資本（地域の財産）としての「公共施設」
- 4 首長部局のメリットと教育委員会との連携の工夫
- 5 これからの図書館と公共資源との連携  
～子どもたちに何を残せるか～

荒川区地域文化スポーツ部長 池田 洋子

# 1 「ゆいの森あらかわ」の位置づけ

(1) 「ゆいの森あらかわ」の概要…別添パンフレット参照

- ① 3つの機能→「中央図書館」「吉村昭記念文学館」「ゆいの森子どもひろば」
- ② 所属組織と運営形態→地域文化スポーツ部ゆいの森課（区長部局）



【区長部局の事務と教育委員会の補助執行事務（整理）】

課 名	区長部局の事務	教育委員会の補助執行事務
生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> <li>清里少年自然の家</li> <li>町屋文化センター</li> <li>生涯学習センター</li> <li>成人の日のつどい</li> <li>荒川区文化祭 ・文化講座</li> <li>荒川コミュニティカレッジ 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育委員</li> <li>青少年団体</li> <li>人権教育</li> <li>家庭教育</li> <li>荒川ふるさと文化館</li> <li>文化財</li> </ul>
ゆいの森課 地域図書館課	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書活動に関する広報、調査</li> <li>情報システムの管理運営</li> <li>資料のリサイクル</li> <li>ボランティアとの連携</li> <li>読書活動を軸にした事業の開催</li> <li>吉村昭記念文学館</li> <li>子どもの多目的施設 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館(中央図書館・地域図書館)の管理等</li> <li>資料の収集・貸出等の利用者サービス</li> <li>読書会、研究会、資料展示</li> <li>職員(司書)の研修</li> </ul>

(2) 荒川区基本構想に掲げる区の将来像と6つの都市像



(3) 荒川区芸術文化振興プラン（平成26年6月改訂）

**基本理念**

区民が主役の芸術文化の振興により区民の幸福実感を高め、荒川区の魅力を外内外に発信することで、区民・生活・地域が芸術文化でつながるまちを創る

(4) 荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方（平成29年3月策定）

**新たな事業展開** ①発信とアウトリーチ ②心地よい居場所づくり ③区民参加の促進

2 「複合施設」ではなく「融合施設」

- ・ 荒川区では「ゆいの森あらかわ」を「複合施設」ではなく「融合施設」と位置付けている。
- ・ これまでの公共施設に見られる、いわゆる「複合施設」は、各々の機能が階層で分かっていたり（フロア型複合施設）、区画によって分かっていたり（テナント型複合施設）と、複数の機能が一つの建物に同居しているに過ぎない場合が多い。
- ・ 一方「ゆいの森あらかわ」は、複数の機能を持つ公共施設である点では複合施設と同じだが、その違いは、それぞれの機能（「中央図書館」、「吉村昭記念文学館」、「子どもひろば」）に明確な境がなく、事業展開はシームレスで、三つの機能が結び付いている（融合している）点にある。三つの機能を結びつけることで、単館では為し得ない事業展開を行っている。

【実施事業（抜粋）…別紙参照】

**館内風景・例示**

- ・ 子どもひろばで遊び疲れた乳幼児をバギーに乗せた若い夫婦が、文学館の再現書齋の中でマイホームづくりの夢を語り合っている。
- ・ 論文の資料を借りに来た大学生が、エントランスで幼い頃読んだ絵本を見つけて読みふけている。

- ・ 友人と連れ立って文学館を訪れた高齢者が、ワークショップルームで開催されていた製本講座に参加している。…などの姿を館内では毎日のように見かける。

### 3 社会資本（地域の財産）としての「公共施設」

- ・ 国土交通省「社会資本整備総合交付金」の活用
- ・ 図書館は、自治体公共物の中で道路に次いで2番目にあらゆる人に利活用されている公共財

### 4 首長部局所管施設のメリットと教育委員会との連携の工夫

#### 【メリット】

- ・ 経営支援、保健所、公園緑地課など、全庁組織との連携がスムーズ
- ・ 自由な発想の事業展開が可能（区内企業と連携したアート展、アニメ制作会社との企画展等）
- ・ 自治体連携がスムーズ
- ・ M L A連携はもとより、他施設や団体とも連携（高齢者施設、障がい者施設、大学、病院等）

#### 【教育委員会との連携の工夫】

- ・ 課長級職員の教育委員会への出席
- ・ 議会の常任委員会「文教子育て支援委員会」…教育委員会・子育て支援・地域文化スポーツ

### 5 これからの図書館 ～子どもたちに何を残せるか～

- ・ 自然の大切さ・郷土愛・地域の知恵袋・目には見えなくても心の記憶に残るもの…
- ・ 区長部局と教育委員会が一体となって考えること



## 《参考》

H29.3.26～H30.3.31  
 実施事業数 281 事業  
 延参加者約 13,000 人  
 視察団体等 210 団体  
 視察者 約 2,500 人

## ゆいの森あらかわ 実施事業 (281 事業より抜粋)

事業名【所 管】	内 容
起業相談コンシェルジュ 【経営支援課】	ゆいの森あらかわ内のビジネス支援コーナーで起業ビジネス関連の専門知識または操業の経験を有する専門家による起業等の相談を産業経済部と連携して実施。
東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー歓迎イベント 【スポーツ振興課】	2020オリンピック・パラリンピック東京大会のキックオフイベントである「フラッグツアー」と元メダリストによる講演会を実施。
理科読大実験ショー 【ゆいの森課】	科学の本の読み聞かせと実験を行い、理科の楽しさを伝える活動を行っているNPOと連携し、開館前から養成したボランティアとともに大実験ショーを実施。
学ぼう！遊ぼう！あらかわぼうさい 【防災課】	ウォークラリー形式で地域防災拠点、災害時危険地域を回る防災ユニバーサルウォーク、防災講演会を東京青年会議所荒川区委員会が主催し、社会福祉協議会、町会等地域団体との協力のもと実施。
星空朗読・演奏会 【ゆいの森課】	シアター形式で映像で星座や太陽系の惑星を学ぶとともに区内アーティストによる生演奏と朗読ボランティアによる星に関連する絵本の朗読を実施。
遊びタイム 【ゆいの森課】	毎週金曜日に遊び라운ジの保育士と司書が協力し、手遊びや絵本や紙芝居の読み聞かせ等を実施
あらみん体操と絵本の読み聞かせ 【健康推進課】	働き盛り世代を対象に開発された健康体操と、ダンスを題材にした絵本と読み聞かせ、ロコモティブシンドロームの健康講座を健康部と連携して実施。
プログラミングワークショップ 【ゆいの森課】	タブレットPCを使ったロボットプログラミング体験ワークショップを小学生を対象に実施
エイケンアニメ展 【ゆいの森課】	荒川区にあるアニメ制作会社「エイケン」(サザエさん、キャプテン、クッキングパパ等を制作)とコラボレーションし、アニメ原画展と上映会を実施。
THE☆ビブリアバトル 【ゆいの森課】	区内中高生を対象に運営スタッフとバトラー(本を紹介してくれる人)を募集し、バトラーは読んだ本をプレゼンし観覧者が一番面白いとおもった人に投票するイベント。教育委員会の協力を得て実施。
こどもと一緒に！楽しい野菜づくり講座 【ゆいの森課】	東京都書店商業組合荒川支部の主催で、(一社)農山漁村文化協会の協力を得て、野菜作りのコツと裏ワザや関連図書の紹介を実施。
大事な本を保護する本のコーディング講座 【ゆいの森課】	東京都書店商業組合荒川支部の主催で、(株)日本ブッカーの協力を得て、図書館を貸し出す前の装備についての説明と本のコーディング体験を実施。
ライブラリーウォーキング 【健康推進課・スポーツ振興課・ゆいの森課・地域図書館課】	健康部と地域文化スポーツ部のコラボレーションのスタンプラリー。区内図書館3館とあらかわ満点メニューを1店舗訪れた方に健康グッズを進呈。
音あそびコンサート 【文化交流推進課】	荒川区と文化芸術振興のための連携協定をしている東京藝術大学音楽学部の学生によるコンサートを実施。
いのちをまもる防災まちづくりワークショップ 【防災街づくり推進課】	今住んでいる家のどこが安全か命をまもる方法を家族で確認するNPOによるワークショップを実施。



事業名【所 管】	内 容
不燃化特区防災まちづくり フェアゆいの森あらかわ 【防災街づくり推進課】	首都直下地震への備えとして必要なこと等の講演会、ゆいの森内の防災設備の解説、消火器体験や煙体験等を行い地域住民の防災意識を高めるイベント。防災街づくり課、区内防災まちづくり協議会主催で実施。
吉村昭記念文学館企画展 吉村昭とふるさとあらかわ 【ゆいの森課】	荒川区出身の作家・吉村昭の生誕 90 周年を記念して、荒川区で過ごした幼少期から青年期までの原点をたどりながら吉村昭氏の作品世界を紹介する企画展を実施。
おしどり文学館協定の締結 【文化交流推進課・ ゆいの森課】	吉村昭氏の御令室である芥川賞作家・津村節子氏が特別館長を務める出身地の福井県ふるさと文学館と吉村昭記念文学館でおしどり文学館協定を締結。
特別区全国連携プロジェクト「お茶の京都」を知る 【総務企画課・ゆいの森課】	特別区長会が立ち上げた特別区全国連携プロジェクトとタッグを組み、800年の歴史をもつ京都・宇治茶の歴史を伝える展示会を特別区長会と連携して開催。
日本舞踊ショー 【ゆいの森課】	区内在住の日本舞踊家・藤川澄十郎氏の協力を得て、家元の藤川澄十郎氏と藤川流門弟たちが繰り広げる華麗な舞踊。
柳田邦男絵本大賞 【指導室・地域図書館課・ ゆいの森課】	読んだ絵本や伝えたい本の感想、子どもへの読み聞かせ体験等を柳田邦男氏に送る手紙形式で記したもので、柳田氏の心を震わせた応募感想文を表彰するもの。教育委員会と主催、荒川区ロータリークラブの協力を得て実施。
ゆいアート展 【文化交流推進課・ 障害者福祉課】	障がい者アーティストの作品展と実演等を行い、区民の文化芸術活動を交感する展示会を地域の企業、福祉施設と協力して実施。



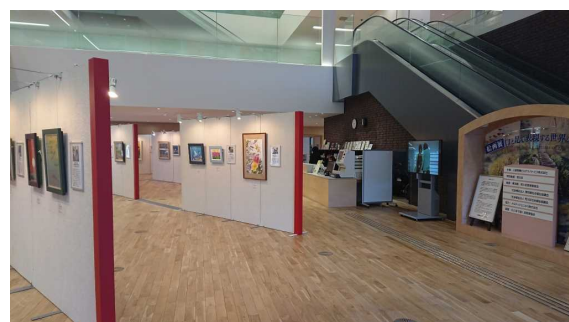
あらみん体操と絵本の読み聞かせ



プログラミングワークショップ



おしどり文学館協定



エントランスで行った「ゆいアート展」